

資料提供

平成27年11月10日
課名：ひろしまブランド推進課
担当者：濱崎・黒木
内線：3441
直通電話：082-513-3441

報道関係者各位



日本画の巨匠、横山大観画伯が終生愛飲した広島のお酒『酔心』3種呑み比べ！ 第3回「翠プレミアム試飲会」開催のお知らせ

<開催：2015年12月2日(水)/会場：広島ブランドショップTAU 2階広島酒工房「翠」>

～内海と山々が織りなす食文化～

見んさい! 食べんさい! 飲めんさい!
カンパイ!
広島県
(▽)(▽)(▽)(▽)

広島の厳選したお酒約350アイテムがずらりと並んでいる広島ブランドショップTAU(たう)2階広島酒工房「翠」(すい)。その「翠」で、日本酒好きの方に広島のお酒を堪能していただける“一夜限り”の試飲会、第3回「翠プレミアム試飲会」を開催します。

今回、ご用意した広島のお酒は、創業1860年(万延元年)で、大正年間、全国酒類品評会で三回連続して優等賞を獲得した広島県三原市の『酔心』(すいしん)の限定酒です。『酔心』自慢の3種とTAU地下1階 瀬戸内ダイニング遠音近音(をちこち)で料理した日本酒に合うおつまみ付きで呑み比べていただきます。

当日はスペシャルゲストとして、広島県の代表銘柄『酔心』の紹介を20代より行われている**株式会社酔心山根本店 営業部長 大出 従道 様**にお越しいたぎます。蔵元ならではの話を直接聞くことができるなど、広島のお酒を五感で楽しんでいただけます。

また、当日、試飲いただいた『酔心』の限定酒を特別販売いたします。
ぜひ、貴メディアでのご取材やご紹介を賜りますようお願いいたします。

翠プレミアム試飲会概要

【日時】2015年12月2日(水) 17:00~20:00(最終受付 19:30)

《酔心トーク：大出様特別講演》

第1部：18:00~18:30、第2部：19:00~19:30

※酔心トーク以外の時間では大出様と個別にお話しが可能です。

【場所】広島ブランドショップTAU2階 広島酒工房「翠」

(東京都中央区銀座1-6-10 銀座上ビルディング)

【内容】『酔心』3種呑み比べ

◎「究極の大吟醸」

軟水の名水と、30%に精米した「山田錦」を使用し、杜氏が入魂の技で醸した正に酔心の酒造りの頂点。

➤ 2015年「第9回インターナショナル・サケ・チャレンジ」大吟醸・吟醸部門 トロフィー(最高金賞) 受賞

➤ 「ワイングラスでおいしい日本酒アワード2015」大吟醸部門 最高金賞 受賞

◎「プレミアム酔心」(純米吟醸 名誉酔心)

純米吟醸酒に純米大吟醸をブレンドして造る数量限定販売の特別なお酒。なめらかでフルーティーな味わい。

◎「初取り新酒」(無濾過純米生原酒)

今年一番はじめにできた純米酒を、手作業で大切に詰めました。

酒蔵の味をそのまま味わえます。

【ゲスト】株式会社酔心山根本店 営業部長 大出 従道 様

【参加方法】試飲チケット(1,300円)を「翠」店頭にて購入してください。(先着30名)

※電話(03-5579-9952)でのご予約もお受けします。

※当日はチケットによりグラス3杯とおつまみを提供します。

※試飲チケットをお持ちの方は開催時間内、自由にご来店いただけます。



『酔心』3種呑み比べ



大出 従道 営業部長

酔心山根本店のご紹介

日本画の巨匠、横山大観画伯が終生愛飲した『酔心』の醸造元

「酔心山根本店」は、瀬戸内海に面した広島県三原市にあり、横山大観画伯が終生愛飲されたように「飲みあきしない酒」を心に描きながら酒造りを行っている『酔心』の醸造元です。

『酔心』の酒銘は、明治の中期、当時の当主が銘柄をひとつにまとめようと昼夜考え、その夢枕に白髪の老人が現れ『酔心(よいごころ)』と命名。

以後、有名になるに従い『酔心(すいしん)』と呼ばれるようになりました。

『酔心』を代表するお酒、「究極の大吟醸」は、他にも、

- 「2014年全国酒類コンクール」(春季・秋季)普通吟醸・大吟醸部門 「特賞第1位」連続受賞
 - 2013年「全米日本酒飲評会」大吟醸部門 金賞受賞
- するなど国内外で高い評価を得ています。



日本画の巨匠 横山大観画伯

横山大観 画伯

【明治元年(1868)～昭和33年(1958)】

横山大観は1868年(明治元年)9月18日水戸藩士酒井捨彦の長男として誕生しました。幼名は秀蔵といい、明治21年母方の姻戚横山家を継ぎ秀麿と改名。

そして明治26年東京美術学校を卒業。

明治30年29歳の時より”大観”の号を用い始めました。

その後、東京美術学校の校長だった岡倉天心の兄弟弟子であった菱田春草らとともに明治31年日本美術院を創立。「朦朧体」と呼ばれる新しい画風を創り出し多くの作品を書き上げる。昭和33年2月26日、数え年91歳で死去。

横山大観は日に二升三合、晩年でも一日一升は飲んでいたという酒仙。

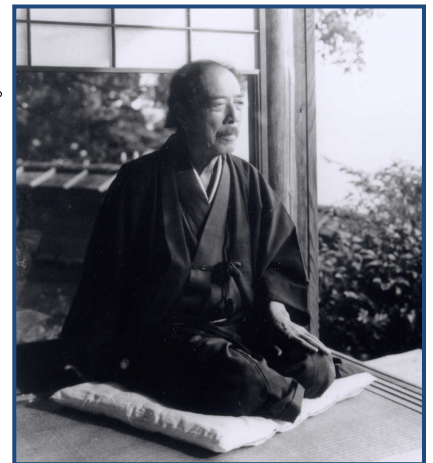
こういって大観は大酒呑みのように聞こえますが、若い頃は全くの下戸で猪口2、3杯で赤くなっていたと言われています。

当時美術学校の校長であった岡倉天心に「一升酒ぐらい飲めなければ駄目だ」と言われたのをきっかけに酒に強くなっていったとのこと。

しかし強くなってからも酒を呑んで筆を執ることは一度もなく、

「私は大酒呑みではなく、ただ酒を愛するだけです。

酒徒という言葉がありますが、私はそれだけです。」と人に話していたと言われています。



【株式会社酔心山根本店HPより掲載】

※広島県では、ひろしまが「買ってみたい」「行ってみたい」「住んでみたい」と多くの人から選ばれる

魅力的な地域となるため、ひろしまの強みや目指す姿として **4つの「コンセプト」** をとりまとめています。

★4 コンセプトの詳細は

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/233/conceptbook.html>

自然と都市が融合した暮らし

創造性あふれる次世代産業

平和への希望が集う場所

内海と山々が織りなす食文化

《本件に関するお問い合わせ》

広島県ひろしまブランド推進課

担当：濱崎、黒木

電話：082-513-3441 FAX：082-223-2135